

女性や高齢者の社会参加率

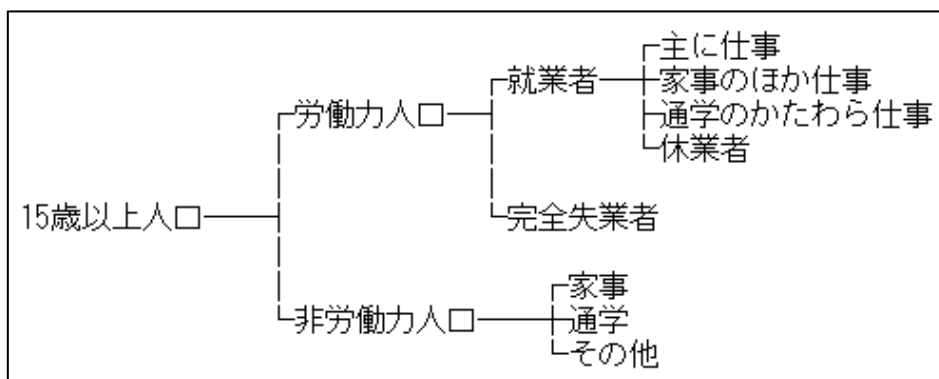
＜委員から要望のあった次回以降に欲しい資料＞

- ・中野市の女性の社会参加率に関するデータ、特にこの10年間の推移がわかるもの
- ・中野広域シルバー人材センターの現況資料、参加率は全体のどの程度か？

＜男女の社会参加率＞

1 労働力状態

労働力状態とは、15歳以上の人について、ある期間の1週間（以下「調査週間」という。）に「仕事をしたかどうかの別」により、次のとおり区分したものです。

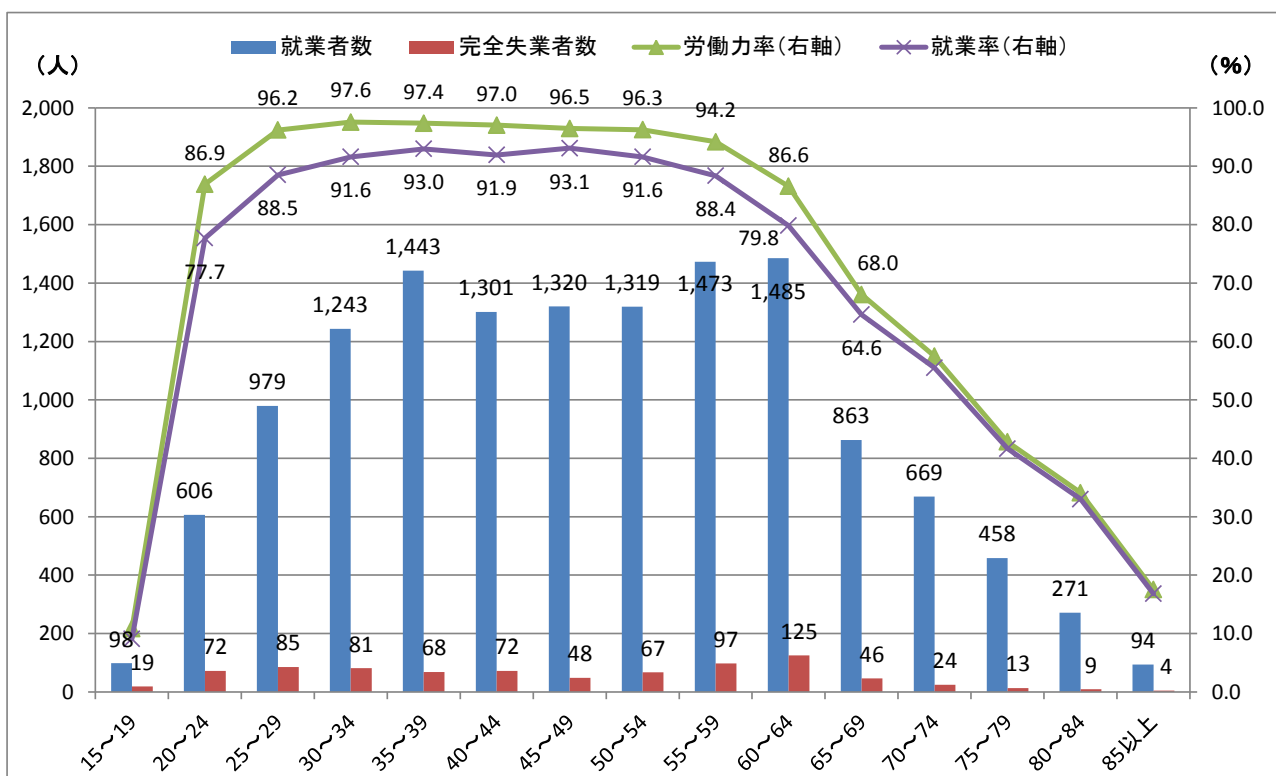


注1) 労働力率 = 労働力人口（就業者 + 完全失業者） ÷ 15歳以上人口

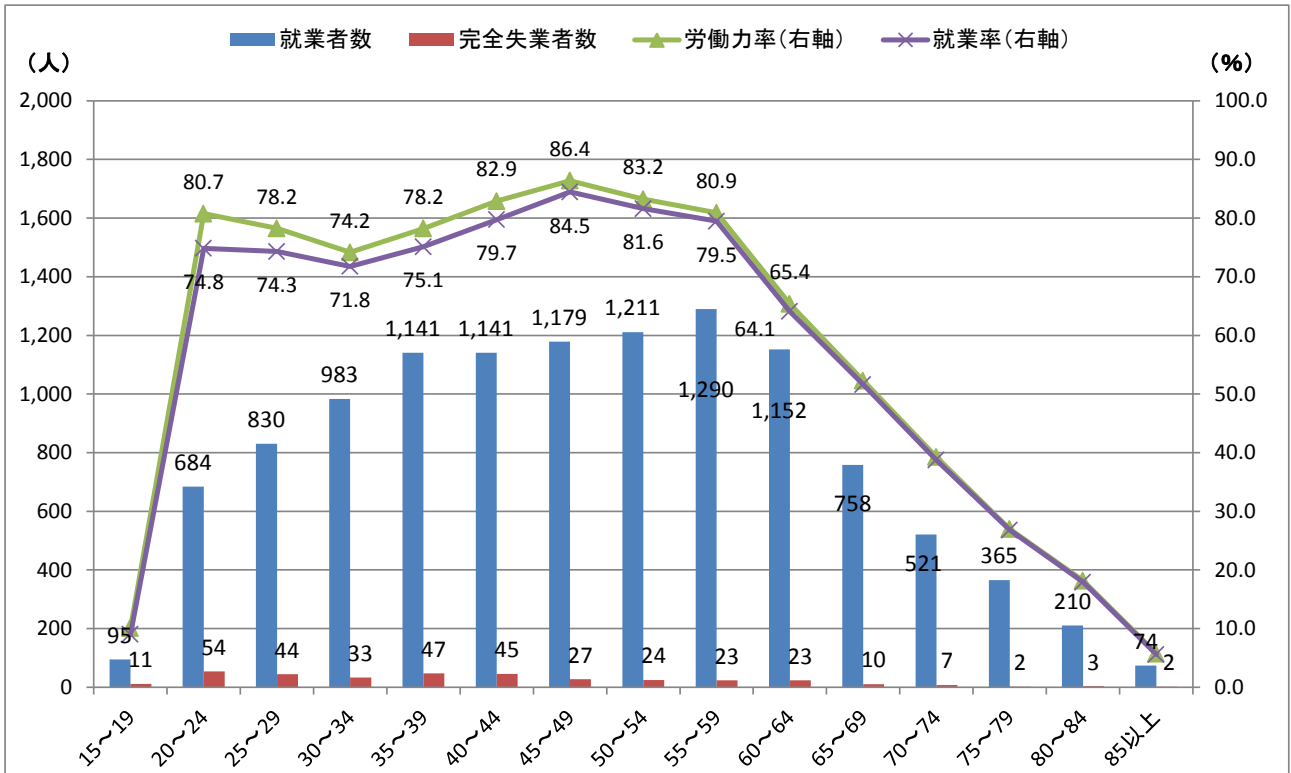
注2) 就業率 = 就業者 ÷ 15歳以上人口

2 労働力率・就業率(H22 国勢調査より)

(1) 中野市に居住する男性の就業状況

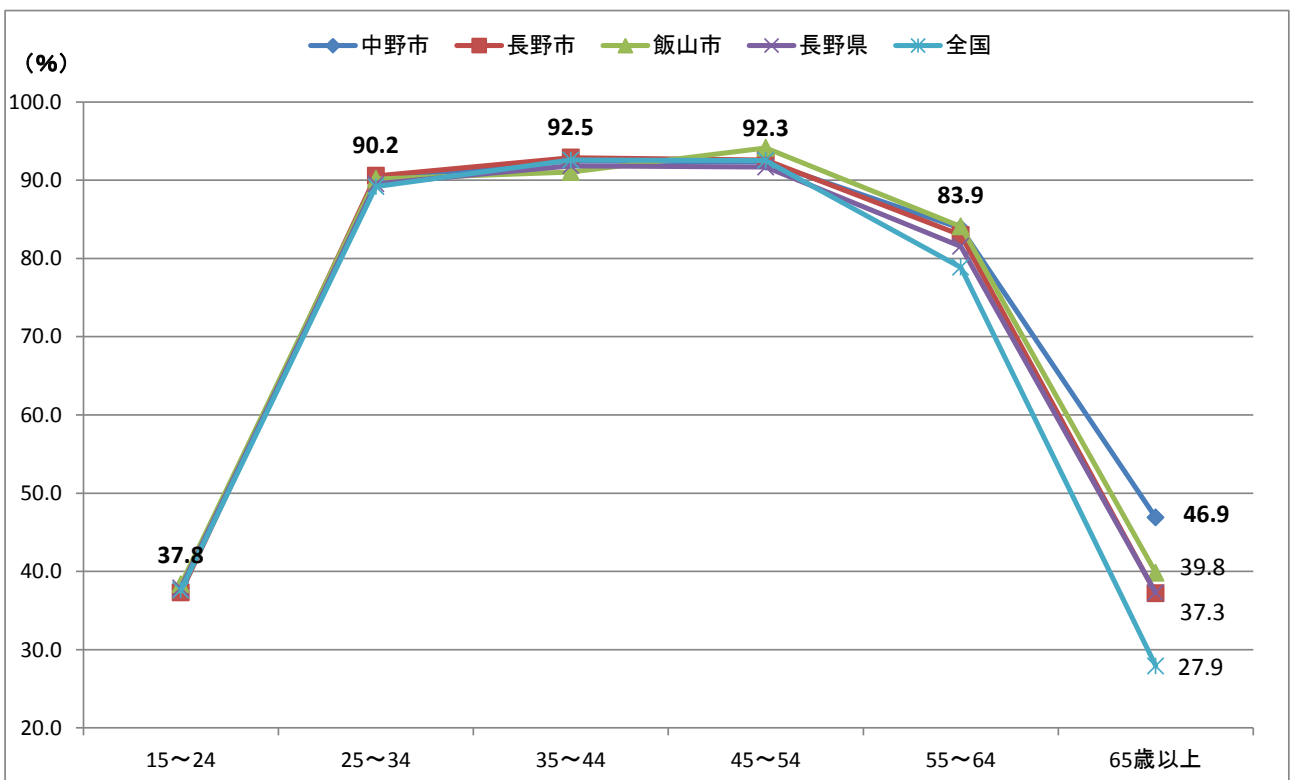


(2) 中野市に居住する女性^{女性}の就業状況

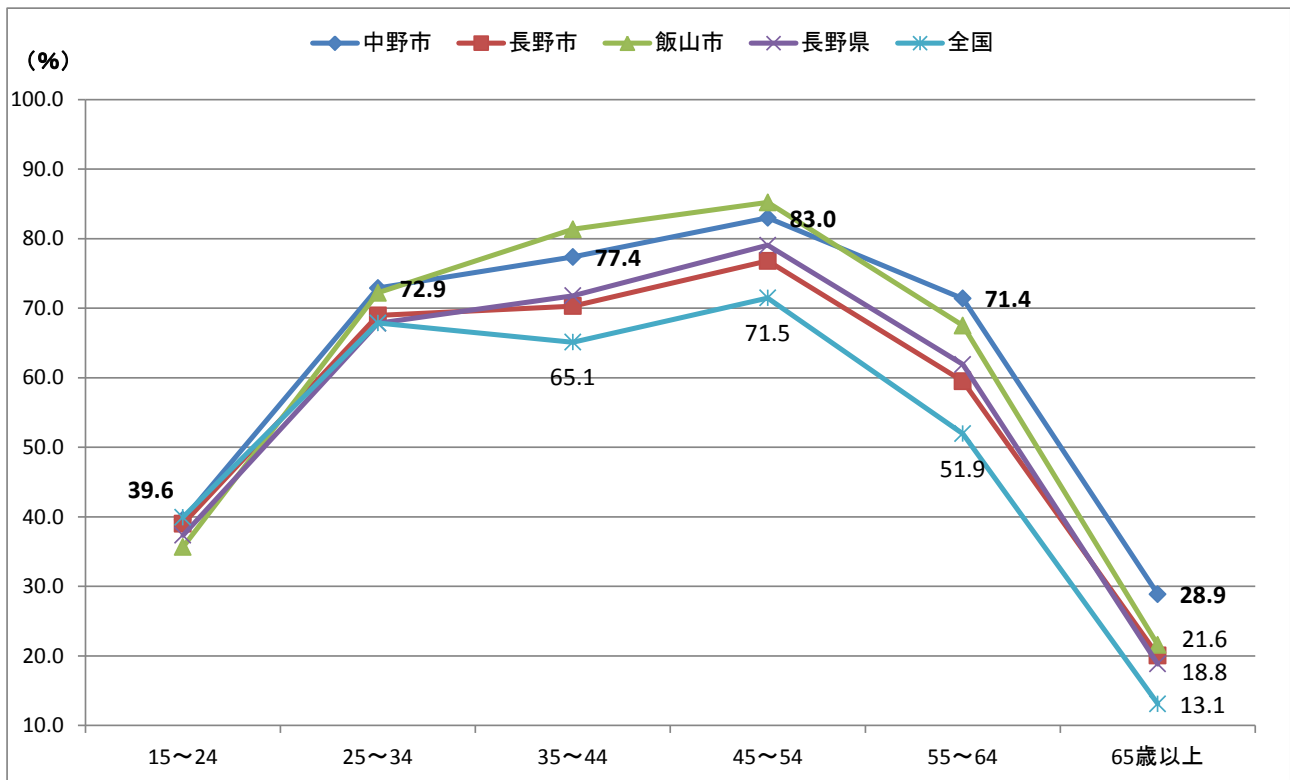


・女性は、男性と比較して労働力と就業率の差は少なくなっている。20代後半から30代にかけて、労働力が減少しており、結婚や出産を機に家事専業等となっている。40代以上は、再度就業する女性が増えている。

(3) 男性就業率の他市比較



(4) 女性就業率の他市比較

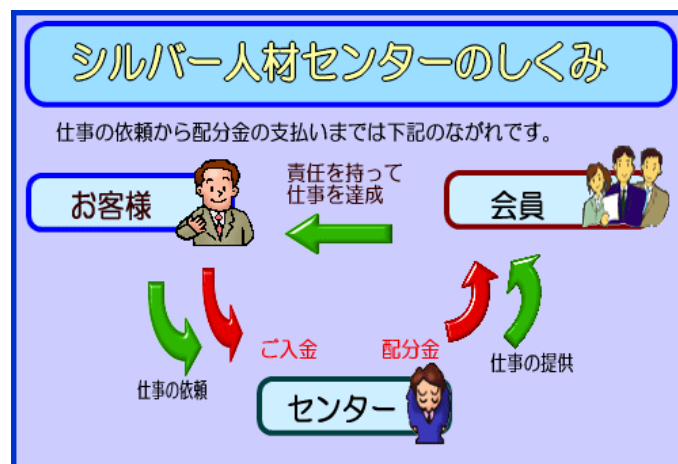


- ・中野市に居住する男性就業率では、54歳以下では近隣市・長野県・全国と比較しても大差はない。65歳以上では、中野市の就業率46.9%に対し、全国では27.9%であり、高齢者になっても多くの方が就業している状況である。
- ・女性就業率では、35歳以上で他市等と数値に差があり、全世代において、長野県及び全国の数値を上回っている。男性と同様に、65歳以上では、中野市の就業率28.9%に対し、飯山市21.6%、長野県18.8%、全国13.1%であり、高齢者になっても多くの方が就業している状況である。

<中野広域シルバー人材センターについて>

1 基本理念

- ・会員による自主的・自立的運営を基本としています
- ・会員がお互いに協力し合いながら働くことを基本としています



2 概要

県知事の認定を受けた「公益社団法人」で、「高齢者の雇用の安定等に関する法律」に基づいており、会員の就業機会の提供を目的とし国及び市からの補助金、会員の会費等で運営しています。公益法人であり営利を目的としていませんが、ボランティア団体ではありません。

3 高齢者のための就業システム

- ・中野市、山ノ内町在住の原則 60 歳以上の就職していない方
- ・高齢者の安全に配慮した仕事を受注
- ・技能、技術を高めるための講習会の実施

4 会員数の状況及び 60 歳～〇〇歳までの全人口に対する会員割合

(1) 会員数の状況

会員数	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
中野市	717	773	788	802	830	856	858	847	789	753
全体	1,004	1,045	1,064	1,090	1,128	1,151	1,163	1,152	1,064	1,002

(2) 60 歳～89 歳までの全人口に対する会員割合

